

平成27年度 第5回 経営協議会議事要録

日 時 平成28年3月14日（月）14：00～15：45

場 所 事務局第1会議室

出席者 三村学長，石崎委員，小田部委員，久保田委員，鈴木委員，種田委員，中原委員，藤井委員，宮下委員，柳生委員，伏見理事，尾崎理事，袖山理事，影山理事，佐川人文学部長，折山理学部長，馬場工学部長，久留主農学部長

欠席者 館岡委員，安井委員，山口委員

同席者 増子監事，馬場監事，米倉副学長，太田副学長，佐藤学長特別補佐，木村学長特別補佐，鈴木学長特別補佐，内田学長特別補佐，羽渕学長特別補佐，原口学長特別補佐，大塚執行部スタッフ，総務部長，財務部長，学務部長，学術企画部長，総務課長，人事課長，労務課長，財務課長，学務課長，監査室長，大学戦略・IR室副室長，

議 題

・審議事項

- 1 平成28年度国立大学法人茨城大学年度計画について
- 2 全学教育機構設置を軸とした教学マネジメントの改革について
- 3 平成28年度茨城大学予算について
- 4 人事・給与システムの弾力化に伴う各種制度の導入等について（概要）
- 5 教職員賃金規程等の一部改正について（概要）
- 6 茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の一部改正について
- 7 その他

・報告事項

- 1 平成28年度一般入試（前期日程），帰国子女入試及び私費外国人留学生入試の実施結果について
- 2 茨城大学基金の創設について
- 3 経営協議会委員について
- 4 その他

・討議事項

- 1 経営協議会の役割・在り方について

議 事 概 要

I 審議事項

1 平成28年度国立大学法人茨城大学年度計画について

学長から、審議願いたい旨提案があり、太田副学長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

- 指導経験実績教員の割合を30%以上にするのとあるが、どのようなことか。
- 平成29年度から実践的教員養成に特化した教育を行うため、さらに実践的指導力の育成・強化を図る。そのため、学校現場で指導経験実績のある教員の割合を増加させる。その数値目標として30%以上と設定した。
- インターンシップに参加している学生数と目標数、実際に受け入れていただいている企業の数などについてお伺いしたい。
- インターンシップ科目の履修者数については、民間企業のみ数だが平成25年度は177名、平成26年度は230名である。
- 人文学部では、授業の一環として大括りではあるが官公庁に約50名、民間企業等に約50名の学生がインターンシップへ参加している。それ以外にも授業ではないが、COCプラスや地方創生などによる数日間の短期的なインターンシップにも参加している。直接的に就職先に結び付くわけではないが、社会に出て働くとはどういうことか、自分の学んできた事が社会へどのような役に立つのかなどを実感し、自分の学生生活をあらためて考え、その考えたものをインターンシップ報告会などで報告する取組みをしている。
- 必ずしも就職に結び付かなくても良いと思われる。仕事をする意味や、自分の興味のある事を拓くなどインターンシップにはいろいろな意味がある。インターンシップを受け入れていただける民間企業等は探せばたくさんあると思うが、そのような努力をどのようにされているのか。今後、しっかりと実施するのであれば、民間企業等と細かい打合せや、受入企業を増やすなどを行わないと、目標を掲げても実現するのは困難であると思われるが、広げていくためにどのような行動をしていくのか。
- 今年度は、地元企業を中心に約40社の企業訪問を実施した。訪問の際に大学改革の説明や、インターンシップの学生を受け入れていただけるか調査している。受け入れていただいている民間企業等については、次年度より増やしていただけるようお願いをする予定である。
- 大学全体で、社会連携センターを中心に関連する企業を訪問している。COCプラスの中で、茨城県や茨城産業会議などと連絡を取って企業との繋がりを広げている。また、各学部がさらに努力をしていくとして2本のラインで実施していく。
- 工学部では、大学院生を中心に大手民間企業とインターンシップを実施している。特徴として、通常、インターンシップは夏季休業期間中に行うが、12月から1月にかけて本学のためだけにインターンシップを実施していただき、今回は約30名の学生が参加している。

2 全学教育機構設置を軸とした教学マネジメントの改革について
学長から、審議願いたい旨提案があり、伏見理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

3 平成28年度茨城大学予算について
学長から、審議願いたい旨提案があり、袖山理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

- 文科省が発表した平成28年度運営費交付金について、本学では様々な取り組みや新機軸を打ち出しているが、結果として評価が低かった。平成29年度については、戦略的に評価が変わるような方策やプロジェクトなどを、アピールも含めて評価が高まるように打ち出していきたい。
- 評価結果が反映された金額については、大学全体としては微々たるものではあるが、有識者の評価という事が非常に重要であり、実際に影響される金額云々ではなく、評価を真摯に受け止め大学改革を進めていく必要がある。
- 今回の本学の提案について、評価結果を見ると戦略の妥当性などは高かったが、指標の説明などが十分ではなかった。全体的にもっと分かりやすく指標の説明を整理して、来年度以降の評価を高めるように努力をしていく。
- 管理業務等経費を大幅に節減しているが、大学運営に影響を及ぼさないようにどのような工夫をしているのか。
- 節減できないものと節減可能であるものと分け、節減可能であるものを中心に大幅な節減をしていく。実際には実施してみなければ効果は不明だが、同規模程度のお他大学と比較しても、本学の一般管理費は高い傾向であると指摘等があるため、今後は意図的に削減を図っていく。

4 人事・給与システムの弾力化に伴う各種制度の導入等について（概要）
学長から、審議願いたい旨提案があり、人事課長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

5 教職員賃金規程等の一部改正について（概要）
学長から、審議願いたい旨提案があり、人事課長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

6 茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の一部改正について
学長から、審議願いたい旨提案があり、財務課長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

II 報告事項

学長から、事前に資料を送付していることから、一部を除き説明を省略する旨の説明があった。

1 平成28年度一般入試（前期日程）、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試の実施結果について

2 茨城大学基金の創設について

3 経営協議会委員について

学長から、資料9に基づき報告があった。

III 討議事項

1 経営協議会の役割・在り方について

学長から、経営協議会の役割や効果をより高めるため、ご意見をいただきたい旨の提案があり、資料10に基づき説明があった。

【主な意見】

- 学外委員が常に大学の実情を把握するのは困難であるので、教員や学生などと懇談する機会があっても良いのではないか。その懇談での意見などを経営協議会で議論し反映させても良いかと思われる。
- 経営協議会に限った事ではないが、平成28年度の年度計画、高大接続協議会の設置や入試改革など、県内の学校関係者にとって極めて重要な取り組みが議論されているが学校関係者などに届いていない。経営協議会などにおいて決定された重要な事項については、学長や副学長が記者会見を行い、広く社会に発表しても良いのではないか。また、本学の研究成果などをもっと世の中にアピールしていただきたい。研究成果を社会に出して、茨城県の中の茨城大学として県民にわかりやすく発表していただきたい。
- 文科省などの評価も重要だが、地域からの評価も非常に重要であると思われる。そのような意味では、インターシップなどでOB・OGをもっと活用してほしい。本学の卒業生は様々な地域や分野で活躍されているので、その地域の力を借りながら本学を盛り上げるようにして、本学ならではの取り組みをしてほしい。
- 本学主催のパートナー企業交流会に参加したが、懇親会も含めて非常に有意義であった。この経営協議会でも年に1～2回程度でよいので、懇親会という交流も必要かと思われるので出来れば開催していただきたい。
- 今までは外から本学を見ていたが、委員になり本学の取り組みなどを直接見聞きできた事は非常に良かったが、年数回の会議では意見を述べるまでには至らず、まだ力になれていないと感じている。本学の第3期中期目標・中期計画は理解しているので、来年度以降は、実際にどのように実施していくのかななどを、いきなり会議ではなく、直接会話ができるようなラフな機会があると意見も出やすいと思われる。
- 学外委員の皆様との会議体ではない交流は必要と感じているので、そのような機会を考えたい。

IV 監事からの意見について

- ・ 本学のメディアへの露出や報道された数は、昨年度と比較すると増えている印象がある。今年度から広報室の組織体制を強化した効果であると評価している。現在、大学ホームページの更新を検討されているが、学外委員からもご意見があったとおり、先生方の研究の成果をもっとわかりやすく発信して

いただき、高校生の方が見ても先生方の研究が簡単にアクセスできるようになれば、本学への親しみや、受験者の数も増えるのではないかとと思われるので、大学ホームページを更新する際には、それらを念頭において作業を進めていただきたい。

- ・ 討議事項で、学外委員の皆様からいろいろなご意見をいただけたことは大変良かった。特に印象に残ったことは、学外委員の皆様はいろいろなコミュニケーションをもっと取りたいという趣旨のご意見が多かったように感じた。事前に会議資料をご覧いただいたとしても、急に意見を求められても難しい面もあるかと思しますので、普段からコミュニケーションをする機会を設けていただき、ご意見をいただきやすい雰囲気を作られれば良いかと思ひ。

V その他

1 経営協議会会議資料の公開について

学長から、資料4及び5は非公開とし、それ以外は全て公開する旨の確認があった。

2 今年度末をもって任期満了となる委員からご挨拶があった。